



デジタル社会に向けて「マイナンバーカード普及への後押しを」 町長 引き続き広報紙での啓発や窓口でのサポートを行っていく



問 交付時間の柔軟な対応は。平日以外でも行えるよう検討している。
答 役場内で写真撮影の対応は。検討していく。
問 情報が洩れる不安に

問 しての対応は。カードの特性を周知していく。
答 マイナポイント取得の課題は。キャッシュレス決済に対応した制度のため、慣れない方には申請の障害

となつていく。引き続き広報紙での啓発や窓口でのサポートを行っていく。
問 社会的孤立対策について
答 国はつながりの場づくりに交付金を拡充しているが、子ども食堂等を検討す

る考えは。
問 町主導型の委託は不向きと考えるが、自主的に集まった志ある方たちの後方支援を行っていききたい。
答 重層的支援体制整備事業の構築について。
問 様々な問題を抱える方が相談を受けやすい体制を整備することが必要。人となりがりたくてもつながれず、社会的孤立に追い込まれている方がSOSを出せる仕組みづくりが大きな課題。

農地付き住宅の売買について

前田 栄



町長 農業委員会で決定した内容を施策に反映する

問 町内において、農地付き住宅における所有権移転の際、農地は農地法第3条により、自己所有とならない。
そこで、他の市町村が特例として実施されているが、当町においても対応がで

ないか伺う。
答 町は、空き家に付随した農地を取得しやすくすることで、遊休農地の解消と同時に、農業や田舎暮らしに興味がある人の移住・定住の促進が期待できることから、空き家バンクとの連

携等、農地付き住宅の売買についてどのような取り組みが可能か、他市町村の事例等の調査を行い積極的に取り組んでいる。農地の取得については、農業委員会で下限面積を見直していく必要があることから、考

方や条件等について農業委員、農地利用最適化推進委員の意見を伺っている。
今後、農業委員会で決定した内容を施策に反映する。



現在までに行った町の新型コロナウイルス感染症の対策、対応について 岩田 鑑郎

町長 迅速できめ細かな対応ができた



問 町のコロナ対策は有効であったと評価できるが反省点はないのか。
答 高齢者対象のワクチン接種予約の際の混乱が反省点である。今後はインターネット等の対応を含め対処

平成30年以降の施政方針について
問 重点的に取り組むべき施策以外は総合振興計画に基づき着実に進めるとあるが、町長、課長の役割は。
答 課長は事業の実施計画

を立て進捗管理を行い企画財政課でとりまとめて報告させている。
問 H30年度で合計特殊出生率が上がってきているとあるが、その後の推移は。
答 0.77が0.9以上で推移している。しかし、出

生数は減っている。今後は施策目標を変更することも考慮し、人口減に対処していきたい。
問 H31年度で医療、介護に関する費用が県内で高水準とあるが費用の推移は。
答 高い水準が続いている。遊休農地について
問 遊休農地解消計画はあるか。
答 計画はないが、農業委員会では年間3haの解消を目標として活動している。

明るい選挙 三ない運動啓発

政治家の寄附は禁止。有権者が求めることも禁止。

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう。



贈らない! 求めない! 受け取らない!

贈らない・求めない・受け取らない 三ない運動で明るい選挙



明るい選挙キャラクター 選挙のめいすいくん